



|                 |                |                |                   |                   |
|-----------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------|
| 幹事課長<br>(芸北支所長) | 学部長<br>(大朝支所長) | 学部長<br>(豊平支所長) | 学部長<br>(まちづくり推進課) | 事務局<br>(まちづくり推進課) |
|                 |                |                |                   |                   |

## 事業実施報告書【講座名：地域リーダー育成②】官民一体の未来創造学部

○日 時：令和2年11月8日（日） 14:00～16:30頃

○場 所：オンライン形式 千代田地域（本庁）  
大朝地域（大朝支所）  
豊平地域（豊平支所）

○参加人数：13名

○内 容：「地域における自分（達）がやりたいことを実行する！」  
～地域のために必要かつ自分（達）がやりたいことを可視化する～  
講師：佐藤 真一さん

### 【受 付】

- ・各会場で受け付けを行った。受付の際に検温を行い記録した。

### 【研 修】

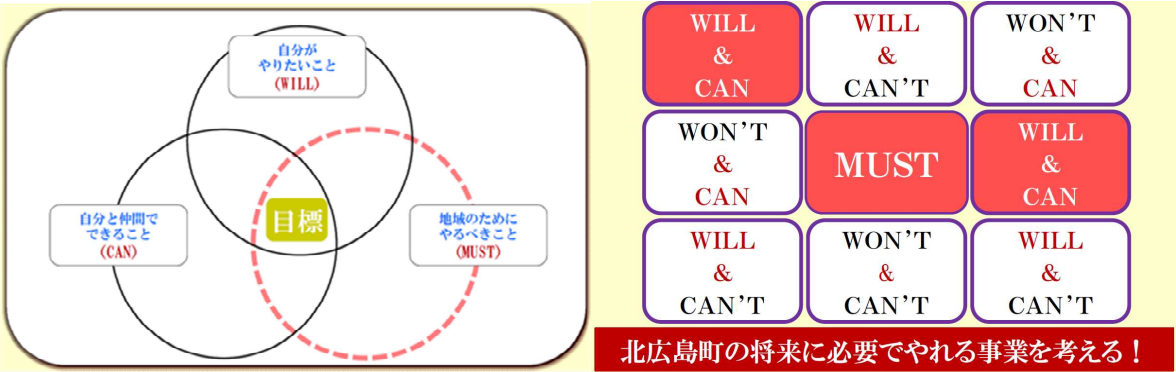
- ・「やりたいこと」を分かりやすく可視化してみる。  
参加者の「やりたいこと」をワークシートを使って整理することで、現状の把握や「やりたいこと」実現のための課題、その課題解決に必要なことが見えてくる。
- ・まず参加者が各々でワークシートに記入し、それを発表した。次に各会場で一つの「やりたいこと」についてみんなで議論を行った。
- ・個人宅からオンラインでの参加が1件あった。
- ・本庁会場では新庄地区で取り組まれている「100プロの活動」について議論。
- ・豊平会場では、キッチンカーの運用について議論。
- ・大朝会場では、集落法人に若者をいれるため、農閑期の仕事づくり（除雪等）について議論。
- ・オンライン参加者からは「子どもの遊び場を作りたい。」と発表があった。

### 【コメント】

- ・知識偏重ならば、他の事例を知りたい（サポーター視点）。すでに構想はできているので実際に行動できる場にして欲しい（メイン重視）
- ・地域の皆さまに内容等、理解して頂く必要がある。 学び塾の事を知ってもらう必要がある。
  - ・思いが近い人が情報を共有できてほしい。
- ・すでに潜在的なリーダーのサポート人員の育成も重要であると思いました。
- ・今回は全員に意見を求められなかったのが良かったです。自分がどうしたいというよりは、協力という気持ちが強いので。
- ・自分の町を自分で作る！ そう思うだけでワクワク、ドキドキします。皆で助け合って幸せに生きていきたいと思います（行政は職員さんにしか出来ないことがあるので助けてもらって）
- ・1回目の学び塾で参加者ははっきりとした目的と覚悟ができた。藍染めはプロセスが多いので、地域づくりセンターを中心に足が無い人への移動手段が欲しい。藍染めらんらんは次の世代に伝える事業にできないかと始めた事ですが、この2、3年で車に乗れなくなる人が増える。地域で収入

になる、子育ての資金の足しになるような事業になれば。楽しんで生きている親世代を見れば、子ども達は帰って来ると信じている。地域に引き留めたいと思わず。田舎の良さ、資源を生かした事業にしたい。藍染めらんらんをつなぎに、移動手段(車)を使って、地域の食べ物を生かす。食事を一緒に楽しむ。同時にやりたい。

【写 真】



| 《第2回のテーマ》“やりたいこと”を分かり易く可視化してみる！                                                                                                      |                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ＜地域のために(必要かつ)やりたいこと＞<br>▼<br>高校生などを対象とした起業家育成プロジェクトなどに取り組みたい！                                                                        |                                                                      |
| 現状                                                                                                                                   | 課題と思われるポイント                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"><li>●Will (なぜ、やりたいのか?)</li><li>●Must (なぜ、やらなければならないのか?)</li><li>●Can (どこまでなら自分たちでやれるのか?)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●条件付きCan (何がたりないのか?)</li></ul> |
| 課題解決の方向性                                                                                                                             |                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>●If / Can (もし、...ならば、...できるはずである!)</li></ul>                                                   |                                                                      |



